

令和7年度 あだちの里地域生活支援センター地域連携推進会議

開催日時	和8年3月16日(月)13時00分～15時20分
開催場所	社会福祉法人あだちの里 竹の塚施設2階グリーンホール
会議参加者	ご利用者代表2名・ご家族代表2名、地域の関係者の方1名、 足立区障がい福祉課職員1名、福祉に知見のある方1名、 当事業所施設長1名・事務長1名・サービス管理責任者 各5名
【議題】	
<p>1 地域連携推進会議の開催にあたり</p> <p>(1)目的 「地域連携推進会議の目的と背景」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームと入所施設の運営において地域連携が義務付けられた。目的は地域との関係作り、理解促進、透明性確保、サービス質向上と透明性の確保、利用者の権利擁護。 ・グループホームと入所施設で虐待件数が多いことも設置の背景にあるのではないかと。 <p>(2)地域連携推進員(会議メンバー) 参加者の自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族、地域関係者、福祉・経営の知見者、自治体担当者、事業所職員によって構成。 <p>2 事業所と地域の連携(利用者との関係づくり)について</p> <p>(1)あだちの里地域生活支援センターについて(画像による紹介)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あだちの里地域生活支援センターは足立区内20カ所のグループホームを運営し、それぞれ西部、北部、中部、東部と4地区に分けて、各地区にサービス管理責任者と支援員を配置している。 ・各グループホームには主に夜勤者として複数の世話人が配置され食事準備や入浴支援、服薬提供など日常サービスを提供している。 ・グループホームを立ち上げて30年近くになるが、加齢に伴う身体機能の低下などご利用者を取り巻く状況の変化に対応すべく、より適切なサービス提供やよりよい居住環境が求められている。 <p>(2)地域との交流・地域行事等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「近隣自治会のお祭りに参加」「地域美化活動として、足立区ごみゼロ運動に参加」 <p>3 サービスの透明性及びサービスの質の確保について</p> <p>(1)利用者の日常生活について(グループホーム利用者の感想)</p> <p><u>だりあ寮ご利用者A様</u></p> <p>「楽しく生活できており、世話人や支援員の対応が優しく悩み事を聞いてくれる」</p> <p>「他の利用者とも協力し合い生活できている」</p> <p><u>秋桜寮ご利用者M様</u></p> <p>「世話人さんの対応が優しい」「バスツアーが楽しかった。またバスツアーはバスガイドをして盛りあげた。」「行事は楽しみなのでもっと増やしてくれれば嬉しい」</p> <p>(2)施設の運営状況について ※各地区より動画による紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームは一軒家、都営住宅、民間マンションアパートの型など大きく3つある。 	

4 利用者の権利擁護について

(1) 権利擁護・虐待防止への取り組みについて

- ・グループホームは密室化しやすく、虐待のリスクがあることを認識している。
- ・虐待防止委員会を設置し、外部との意見交換の場を設けている。
- ・虐待防止や障がい理解に関する研修を定期的実施している。

(2) 第三者評価の結果報告について

・今年度は1月に第三者評価を受審。最終的な評価はこれからであるが、2月に経営層の聞き取りを実施。その中で以下の評価を得ている。前は令和4年に受審したが利用者からの評価は大変満足、満足が80%を超えており第三者評価の委員の方からも高評価を得ている。また、改善が望まれる点として服薬事故への対応などがあげられ現状の対応の強化策を検討している。

5 事業所内の見学 ユニット見学（利用者居室、世話人室、リビング、風呂場の見学を実施）

6 意見交換等について

(1) 質問等

Q1 地域の方からクレームなどあった場合などはどのような対応をされたか？

A 集合住宅タイプのグループホームでは以前騒音のトラブルがあった。防音マットを準備するなど上下両隣に配慮をした対応を行ったが、難しさを感じている。

Q2 悩みの相談があった場合などの様な形で対応しているか

A 地区職員で共有して対応策を考える。また通所先を変えたいなど他機関と連携して解決する場合には、関係機関が集まった担当者会議で協議をする。

Q3 変則勤務だと情報の共有など難しい場合もあるかと思うがどの様に対応されているか。

A 勤務表を組む前に事前に世話人会議後に集まれる様に調整している。

(2) 出席者からのご意見・ご感想

ご家族代表Y様・・・地域という観点では、地域の方が娘の事を理解されている方がいる事がある事がある。また以前通所から帰寮の際乗り過ごした際、迎えに行ってくれた事があった。色々な思いがあるがグループホームでの生活を通じて地域の方々と結びついていると感じる事があった。

ご家族代表I様・・・毎週土曜日朝 グループホームから自宅に帰るが近隣の商店街の方と仲良くなっている事や知らない方とも挨拶できている事があった。色々な事をよく話してくれるのでグループホームでの生活が楽しい事が伝わる。

足立区民生・児童委員K様・・・ご利用者のお話を直接お聞きしより理解が深まった。行事を増やす事やボランティアの必要性を感じている様であるが、社会福祉協議会を是非活用して欲しい。

足立区障がい福祉課U様・・・生活が充実しているのを感じた。一方でグループホームを立ち上げる際に不安な声が地域住民から聞こえる事がある。行政としても相互理解のため丁寧に対応していく。

他事業所施設長N様・・・地区会議や寮会議などスケジュールリングが大変な定期的に行っているのは参考になる。服薬事故など我々も同様な事故が発生しているが、ダブルチェックをしつこいくらいに行うしか方法がない。

まとめ

8年度も引き続き様々な立場の方々の意見を参考に、よりよいサービス提供に繋げていくことが確認された。